NEWS FROM TOYOTA
CORPORATE COMMUNICATIONS, TOYOTA MOTOR SALES, U.S.A., INC.

エンバーゴ解禁：２０１１年８月２３日 1:30 P.M. （東部夏時間）

米国トヨタ自動車販売-41-2011

トヨタ、2012 年型（第７世代）カムリを発表

- 無駄のない引き締まったデザイン、運転の楽しさを実感させるダイナミクス性能
- 全モデルで燃費向上： ハイブリッド車は 43 マイル/ガロンに到達
- 先進的安全・セキュリティー装備の充実
- マルチメディア・システム Entune 搭載

カリフォルニア州トーランス － 本日、トヨタは第７世代となる新型カムリを導入します。カムリは全米で９年連続、過去１４年間で１３回、最多の販売台数を記録した乗用車です。2012 年新型カムリは、大胆で洗練されたデザイン、更に広々としたインテリア、ダイナミクス性能の向上、そしてより優れた静粛性を実現しました。このクラス最高の安全性、燃費、そしてマルチメディア機能を加え、カムリ史上、「最高のカムリ」となっております。1983 年に初登場したトヨタ　カムリは、後にミドルクラス・セダンのスタンダードとしての地位を確立し、その品質と信頼性、そして快適な走りと静粛性で、ベンチマークを打ち立てました。それ以来トヨタは、全世界で実に 1500 万台のカムリを販売してきました。

「全く新しい 2012 年型カムリは、快適さ、信頼性、そして安全性といった、車の価値を進化させ、かつ、一層魅力的なデザインと感性に訴えるドライバビリティをブレンドしました。」と、米国トヨタ販売副社長兼統括マネジャー、ボブ・カーターは言います。「ミドルクラス・セダン部門での競争は現在、未だかつてなかったほどに激しさを増していますが 、この全く新しいカムリは、さらにその魅力を向上させ、今後も引き続きリーダーの座を保ち続けるべくデザインされました。」

新世代トヨタ　カムリは、3 種のドライブトレーンを選ぶことができますが、3 種全てが更に 2012 年型用に、より良い燃費と、さらにレスポンスを高めた性能を発揮します。改良型 2.5 リットル４気筒エンジンは、９馬力増加の 178 馬力、最大トルク 170 ポンド/フィートです。米国環境保護庁、EPA による推定燃費は、市街地 25 マイル/ガロン、高速道路 35 マイル/ガロン、平均 28 マイル/ガロンで、前世代カムリより２マイル/ガロン向上しました。 2.5 リットルエンジンは、全てのエンジン回転域において、最適の性能と燃費を可能にする、吸気側、排気側のバルブタイミングを制御する、デュアル VVT-i （可変バルブタイミング、インテリジェン

ト）を採用しました。更に、 可変吸気システム （ACIS)によって、幅広いエンジン回転域でのトルク最適化を可能にしました。

2012 年新型 トヨタ　カムリ-カムリ ハイブリッド/2-2-2-2

性能と効率

SE と XLE では、DOHC 3.5-リットルＶ6 エンジン搭載モデルも選べ、268 馬力、最大トルクは 248 ポンド/フィート（4,700 rpm） です。このエンジンも燃費を向上させ、EPA による推定評価で、市街地 21 マイル/ガロン、高速道路 30 マイル/ガロンと、Ｖ６ミドルクラスセダンの中では最良の 燃費向上を達成しました。

Ｖ６は、チェーンカムとデュアル VVT-i（可変バルブタイミング、インテリジェント）搭載、燃費向上のために新しく粘度の低いオイルと、冷間時により素早くトランスミッションを作動温度にまで上げる、オートマチックトランスミッションフルードウォーマーを採用しました。より高いファイナルドライブ-ギアレシオも、新型カムリの燃費向上に貢献しています。

ガゾリンエンジンの LE、XLE、SE モデルでは、フロア・シフトレバーを利用したシーケンシャル・シフトモードの６速オートマチックトランスミッションを搭載。素早いキックダウンで、運転者の動作に反応するインテリジェント制御を採用しました。更にカムリ SE は唯一、 Ｄレンジシーケンシャルシフトを搭載し、フロア・シフトレバーがＤレンジでも、ステアリングホイールに装着されたパドル・シフトレバーでの、マニュアルシフトを可能にしました。カムリ SE だけの持つ性能としてはまた、S モードでの更に迅速なシフト時間と、よりスポーティーな感覚を楽しめるシフトダウンのブリッピング・コントロール（エンジン回転コントロール）も含まれます。

最新のカムリ ハイブリッド ：ミドルクラスハイブリッド セダンに新しい基準を設定

最新のカムリ ハイブリッドは、新たに採用した 2.5 リットル 4 気筒エンジンを含め、大掛かりな改良を施したハイブリッド・シナジー・ドライブを備えデビューします。2012 年型 カムリ ハイブリッド LE は、EPA による推定では、市街地 43 マイル/ガロン、高速道路 39 マイル/ガロン、平均 41 マイル/ガロンを達成、主に新たなハイブリッド 駆動系、より軽くなった車体、最適化されたエアロダイナミクスによって、前世代モデルに比べて、EPA の市内・高速統合運転サイクル燃費で、30%以上の向上を遂げました。

その独自のトランスアクスルによって、ハイブリッド・シナジードライブ・システムは、小型高トルク電子モーターと４気筒エンジンからの出力を一体化しコントロールします。このシステムは、必要に応じて、ガソリンエンジン、電気モーター、またはその双方を合わせて最大のシステム出力として 200 馬力を発生します。

新しい 2.5 リットルエンジンは、従来型の 2.4 リットルエンジンと同じく、（吸気弁閉鎖を遅らせて、圧縮比よりも高い膨張比を得る）アトキンソン・サイクルを利用し、

最良の効率を獲得しました。吸気カムのVVT-i （可変バルブタイミング、インテリジェント）システムが、トルクを従来型のエンジンよりも強化。電子ウォーターポンプ、ローラー・ロッカー型バルブ駆動と可変出力オイルポンプも、燃費向上に貢献しています。

新型水冷排気ガス内気循環(EGR)システムが、全ての車両速度域においてのエミッションを最小化し、燃費向上に貢献します。気筒内に噴射される排気ガスの冷却と制御によって、気筒温度制御のための空燃比を増加（燃料の比率を濃くする）必要がなくなりました。

2012年新型 カムリ ハイブリッドは、 AT-PZEV（ゼロ排出ガス車として部分換算される先進技術搭載車）に認定されています。エンジンルームの音吸収新素材は、エンジン回転をよりリニアにコントロールすることとあいまって、2012年新型 カムリ ハイブリッドの加速時ノイズを更に心地よいものとしました。

ハイブリッドのガソリンエンジンが停止した場合には、エアコンシステムとパワーステアリング・システムは電気で作動されます。ハイブリッド ・シナジードライブ・システムの新たな燃費向上対策としては、トランスアクスル内での内部損失削減、モーター電圧制御の改善、そして回生ブレーキの最適化が行われました。後部座席後方のトランクに搭載された、実績あるニッケル水素電池は、空気での冷却性能を更に改善。電池パックの小型化と、DC/DCコンバーターをエンジン室へ移動したことによって、従来型カムリハイブリッドより、トランクスペースを2.1立方フィート拡大しました。

車両重量の軽量化は、更なるパフォーマンスと燃費の向上に貢献しています。０から６０までの加速時間は7.6秒と、カムリ ハイブリッド を４気筒とＶ６の中間に位置づけます。新型モデルで初めて提供されるようになった、１７インチの低ころがり抵抗タイヤもまた、燃費向上に役だっています。

2012年新型 カムリ ハイブリッドでは、新たに、ＥＶドライブモードを採用して、1.6マイルを電気モーターのみで低速（約25mph以下）走行可能にしました。車両が電気モーターのみで運転されている場合には、ＥＶメーターが点灯します。

従来型カムリ ハイブリッド同様、ＥＣＯモードでは、スロットルと 空調出力を燃費最良化のために最適化しました。ハイブリッド車専用装備として、ハイブリッドシステム作動表示と燃料消費メーターが計器群に加わり、最大限に経済運転する助けをします。瞬間燃費は、平均燃費ゲージ外部に、ＬＥＤ（発光ダイオード）で表示されます。マルチ情報ディスプレイが、リアルタイムの燃費、燃料流量、走行可能距離を表示します。

　また従来通り、ブレーキを作動すると、モーター が回転中の車輪から運動エネルギーを捉えて発電機に動力を送り込み（回生）、ハイブリッド電池パックに蓄電します。シフトレバーを「Ｂ」に入れると、回生ブレーキがエンジン・ブレーキの形で、降坂時の制御を強化します。新たに坂道発進アシスト制御を加えて、坂道発進の際にブレーキ・ペダルから足を離した時に、車両が下がってしまう可能性を防止しました。

　2012 年型カムリ　ハイブリッド専用の外装、内装は、他のカムリと異なるデザイン・タッチとなっています。トリム、インパネ、ドア・スイッチベース、上部操作盤、シフトノブは全て、ハイブリッドだけのインテリアです。また、座席の素材はハイブリッド専用のアイボリーかライトグレーのファブリックです。専用本皮革、ウルトラ・スエードの内装も購入可能です。また、クロームがアクセントをつける外部リングの３ダイアル・オプティトロン・ゲージパネルが豪華さを演出します。

グレード構成

　全く新しくなったカムリとカムリ ハイブリッドは、6 種のグレード・モデルから選ぶことができます。カムリは、エントリー・レベルの L クラス、価値ある LE、プレミアム・クラスの XLE、そしてスポーツ・タイプの SE を提供。XLE と SE はさらに、4 気筒型か V６型エンジンから選べます。カムリハイブリッドも、LE と XLE の２グレードを提供します。

外観デザイン

　2012 年新型 カムリは、先行モデルに比べて幅広く低めのスタンスで、エレガントでシンプルかつモダンなフォームを採用しました。はっきりした、精緻なキャラクター・ラインを通じた「 建築ステートメント」を伝えるデザインとともに、曲線を描くドアのクロスセクション、更にくっきりとしたロッカーパネルモールディング（LE と XLE では、クロームのアクセント付)が、カムリにより表情豊かな外観を与えました。

　ヘッドライトは、はっきりした曲線のメインビーム・ユニットがバンパー・カバーへと繋がり、更にダイナミックなフォームを形成。XLE と SE モデルではフォグランプが標準装備されています。後部ライト のクラスターは、車体のサイドをぴったりと覆い、上部はトランク部にまで達します。

　カムリ LE と XLE は、更に外装にクロームのトリムを加え、SE クラスは、独自のボディー下部デザインと細かいメッシュの上部グリルセクションを装備。SE クラスではまた、フォグランプと、黒のトリムのヘッドライト・ベゼルを備えた 3 部構成下部グリルを特色としています。SE モデルのより傑出したロッカーパネルモールディングは、一体化した正面ならびに後部アンダーボディーのスポイラーへとクリーンにつながって広さを強調。またトランクリッドには一体化スポイラーを搭載しました。

新しくなったボディーラインを更に際立たせるのは、4 つの新色です。そのうち、アティチュード・ブラック・メタリックとクリアウォーター・ブルーの２色は、米国トヨタには新しく導入された色です。アティチュード・ブラック・メタリックは、伝統的なジェットブラックの中に明るいブルーの顔料が輝き、クリアウォーター・ブルーは、シルバー・メタリックの顔料によりガラスのように光る水面にも似たフィニッシュとなっています。

内装デザイン

従来型モデルと外部寸法はほぼ同じとはいえ、2012 年新型 カムリは、より魅惑的な広々としたインテリアとなりました。ダッシュボードの新デザイン、座席位置の変更、新しくデザインされた座席、そして、「ムダをなくした」ドア、支柱、ヘッドラインのトリムが、視界の向上とともに実際のスペース拡大と、拡大されたスペース以上に、より広く感じるようにすることに貢献。運転席を再配置し、ハンドルを上下ならびに前後に可動化（更に快適なドライビングのために、上下可動範囲は 33%拡大）、前方可視範囲拡大と運転座席のポジション調整をサポートします。

アクセルペダル及び前部座席は前に移動し、後部座席の腰位置を後方に移動させることで、カップル。ディスタンスを 0.6 インチ広げました。再形成された前部座席の背もたれ部で、後部の足回りスペースは、1.8 インチ拡がりました。デザインが改良されたコンソールと、後部座席クッションの先端が、後部中央座席の足回りスペースを更に２インチ拡大しました。

大きく目立ってはいませんが、A-ならびに B-ピラー、後部座席とドアのトリム上部のヘッドライナー等、多くの部分でカムリのデザイナーは内装トリムを再設計し、更に広々と感じられるスペースを創りあげました。多くの車では、空間は、構造とトリムの間に出来た「空の」表面として放置されますが、無駄を削ぎ落したデザイン・アプローチを取ることで、トリム部分は更にその下の構造に緊密に沿うようになりました、その結果、ミリメーターに満たない実際の拡大エリアよりも、すっと快適に感じられるスペースが可能となりました。

３次元構造と、コントラストの強い素材の質感が、新しい計器パネルに深みを与え、その形そのものが、さらに広々した車内と前方視界の向上を実現しました。はっきりとしたカーブを描く正面クラスターは、計器パネルの上に浮かんでいるように見え、視覚的にコンパクトになりました。計器パネル上部、ドアのトリム上部、ドアの肘掛け部分、ならびに中央のコンソールに使われた肘掛にはソフトな素材を使用し、カムリを更に快適にしています。計器パネルのソフトパディングの縫い目は、他の部分の縫い目に似せたトリムにマッチしており、高級感を演出しています。またアルミニウム・カラーとクロームのトリムがきっちりと使われています。

カムリ LE と XLE クラスの座席のカラーは、アイボリーかグレー、SE では、独自の黒地に黒またはグレー地に黒のコンビから選べます。新しくデザインされた前部座席のフレームは、より高い背もたれと、長めのシートクッションで更に快適さを増しました。運転席の高さ調節は、従来型モデルよりも半インチ近くも調整範囲（総合調整範囲、2.4 インチ）を拡長しました。SE のスポーティーな前部座席はより厚目のサイドボルスターを備え、このクラス独自の皮革カバー３スポークハンドルが、６速自動変速のパドルシフト制御を提供します。

2012 年新型カムリは、LE と XLE のファブリック、SE は SofTex ファブリック、XLEＶ６では本革が標準装備（４気筒エンジン XLE ではオプション）、SE と XLE ハイブリッドでは、本革とともにウルトラスエード®　と、４種のシートカバーから選ぶことができます。温度調整可能なシートヒーターは XLE　Ｖ６エンジンで標準装備、SE、XLE ４気筒エンジン、ハイブリッドでもオプションで搭載可能です。

新型カムリは、今日の消費者の需要に応えた新機能を加えながらも、単刀直入で直感的な使用感覚の制御を保っています。調整つまみは高い精度制御を感じさせ、中央コンソールのデザインには、機能性と使いやすさに特別の配慮が施されました。運転席、助手席両方のソフトなニーパッドが一層の快適さを加え、前部座席の１２ボルトの付属コネクターと、ＵＳＢ入力ポートでｉＰｏｄなどのメディア機器に簡単にアクセスできます。後部のスライド型コンソールは、従来の跳ね上げ式と比べてより容易に前部座席両方からアクセスできるようになりました。ハンドルのデザインは二種、オーディオとブルートゥース®コントロールが統合され、LE では４スポーク、XLE では本革カバーの４スポーク、そして SE ではスポーティーな本革カバー３スポークとなります。

全クラスで、貨物搭載能力を拡大できる、前倒し可能な 60:40 分割式シートを採用。座席はトランク部分から、リモート・リリースで低くすることができます。後部座席サイド・エアバッグは全ラインで標準装備、カップホルダー付きアームレストが、一層の快適さと便利さを提供します。

更に進化したコネクティビティ

更に、新型カムリにされたものとして、最新型エレクトロニクスと、コネクティビティの強化

があります。標準装備のブルートゥースのワイアレス・コネクションによるハンズフリー携帯電話機能は、自動電話帳移転機能によってより機能を向上。iPod とフルにつなげられるプリセットシステムを含め、標準装備のＵＳＢポートで、ポータブル・オーディオ機器から、ダッシュボードに内装のディスプレースクリーンと、車内サウンドシステムを使って、音楽やビデオの視聴を可能にしました。

LE、XLE、SE クラスの標準オーディオ・システムは、 6.1 インチ・スクリーンと６スピーカーを搭載。スクリーンでは、エネルギー・モニターと燃料消費データを表示し、バック用後部カメラ（SE と XLE のみ）機能と、ディスプレー・オーディオ・システム機能を備えています。スクリーンはまた、新しいナビゲーション・システムを備え、トヨタの新しい革新的マルチメディア・システム、Entune のポータルとしても機能します。ＨＤラジオ・システムは、デジタルＦＭ放送に、ＣＤレベルのサウンド・クオリティーを可能にし、ＡＭ曲からのアナログ放送のサウンド・クオリティーを最大化します。システムには、SiriusXM Satellite Radio™を認識できる iTune 装備ＨＤラジオが装備されています。

最上級オーディオには、新型７インチ・プレミアムＨＤＤカーナビ・システムと、Entune™、そして、JBL を 装備。このシステムには、ナビゲーションとオーディオ情報を同時に表示する、画面分割機能を搭載しました。

カムリはまた、新しく JBL GreenEdge™ オーディオ・システムを装備し、８チャンネル・アンプとドアに取付けられた「アコースティックレンズ」スピーカーで、高品質な音を提供します。GreenEdge アンプ は、全体で 66%の質量削減、サウンド効率で 50%の向上を達成しました。GreenEdge スピーカーは、従来モデルに比べて、より少ない消費電力で、同等のパワーとより高い音量出力を生み出します。

Entune マルチメディア・システム

カムリはトヨタ車で初めて、Entune マルチメディア・システムを搭載する車両の一つです。トヨタ車初のこの新システムは、携帯スマートフォンを活用して、完全一体化されたカーナビ機能、娯楽、情報サービスでカーライフをより豊かなものにします。

トヨタ Entune は初めて、天気、交通量、ガソリンスタンド情報（場所と価格）といった役立つトラベル情報、株情報、スポーツ速報の生中継に加え、Bing、OpenTable、movietickets.com などの魅力的なモービル・アプリーケーションのサポート機能を登場させました。トヨタ Entune は、iHeartRadio の 750 以上の放送局、Pandora の個人用音楽サービスを含めて、車両向け音楽サービス最大の最多の音楽セレクションをお届けします。

Entune とともに、オーディオシステムは、このクラスで最も先進的な会話音声認識システムを装備して、運転者が何千もの音声コマンドを暗記しなければならない必要を取り除いて、運転に集中できるようにしました。システムはまた、テキストメッセージの音声読み上げと繰返し機能、更に、「今、運転中ですので、後ほどお返事致します」など、予め設定した「即答メッセージ」を返信する機能を備えています。

2012 年新型 トヨタ　カムリ-カムリ ハイブリッド/8-8-8-8

ミドルクラスセダンの静けさの新たな基準

新型カムリの更に高いレベルの改良によって、ミドルクラスの中でも、長らく定評のあった走りのスムーズさと静粛性の基準がリセットされました。車内全体を通して騒音を軽減するために、特に際立つ音の抑制に焦点が置かれました。駆動システムが更に精緻化されて静かになり、運転者や乗員は風切音やロードノイズに気付きにくくなりました。騒音の低さ（デシベル数値での）は必ずしも車内の主観的な静けさに等しいとは限りません。車内乗員の静けさに対する感覚は、音の周波数にも左右されます。

そのような意識される騒音は、どこから車内に入り込んでいるのか判断され、それらのエリアに 新しい音吸収素材を使用することにより車内に入る騒音を静かにしました。エンジニア達は特に、車内で快適に会話を楽しめるように、人間の声に近い周波数の騒音を抑制することに焦点を当てました。

風切音軽減対策としては、ドアとロッカーエリアの密閉力強化、音吸収素材の配置の最適化、ルーフ、支柱、ドア開閉部への発泡素材使用、Ｖ６ならびにハイブリッド・モデルではフロントガラスに防音ガラス使用、フロントカウル吸気孔のブレーシングが含まれます。

現代の車の中でも最も複雑なエリアの一つであり、騒音の侵入源でもあるダッシュボードの構造と組立は、騒音侵入防止のために、徹底的に最適化されました。新たなクロスメンバーとセンターブレースを使用し、共鳴を抑え、振動を軽減するサンドイッチ型鋼板を使用。挟まれたスチールと共に、アスファルト・スポンジが、防音効果を高めると同時に、振動エネルギーを吸収します。

ダッシュ外面の消音装置は、ダッシュパネルと音吸収フェルトの間に空気の層を設け、内部の消音層には柔らかなフェルトと固いフェルトを使って、高周波から低周波まで幅広い範囲の音をブロックします。減衰コーティングの厚さと適用範囲は、床パネルの振動と、床から入ってくる騒音を削減するために最適化され、新タイプのカーペットが騒音を取り除きます。消音パネルが車輪カバーに設置され、トランクの内部トリムに使われた新しい音吸収素材が更に、タイヤと車輪からの騒音軽減に寄与しています。

2012 年新型 トヨタ　カムリ-カムリ ハイブリッド/9-9-9-9

並外れたハンドリングと走り

より頑丈な車体構造、改良型フロント・サスペンションと新しいデザインの後部サスペンション、そしてエアロダイナミクスの全てが、新型カムリに全体的な走りの快適さに加えて、一層向上した直進安定性と切れ味のいいステアリングレスポンスをもたらしました。ハンドリングの安定性は、運転の楽しさをつたえるだけではなく、運転者の安心感に大きく影響します。

2012 年新型 カムリ の車体構造は、ハイテンションスチール（440 メガパスカル以上）を以前より大量に使い、更に強化されたハイテンションスチール（590 メガパスカル以上）を使用した結果、従来型モデルよりも更に強化されながらも軽量の車体を実現しました。ドアとフェンダーのフレアー状のデザインは、よりスリムで強い構造を可能にしました。ハイテンションアルミニウムのバンパーサポートが、更なる軽さと強さをもたらし、新しく開発されたプラスティックが、バンパーカバーに使われて、軽量化に貢献しています。

補強されたフロントカウル部分が、サスペンション部分の剛性を向上して、ねじれを抑制します。フロント・サスペンションのタワーは、フロントカウルに直接繋げられて剛性を向上、取付方法と補強ブレースも強化されました。全く新しい後部車体下部と後部サブ・フレームが、横力とねじれ剛性を強化しました。

マクファーソン・ストラット　フロント・サスペンションには、逆コイルばねを使って、直線安定性を高めました。ショックアブソーバーとスタビライザーの径も、最適化されました。リアスペンションは、従来型モデルで実績が証明されたデュアルリンクストラットを引き継いでいますが、コーナリングの安定性を高めるために、配置（コーナリングとブレーキ時のトーイン増加）を再設計すると共に、新コンポーネントを再調整しました。コイルばね、ブッシング、スタビライザー、ショックアブソーバーも全て見直され、改良されています。

2012 年新型 カムリの後部コンビネーション・ライトとサイドミラーは、F-1 レースのテクノロジーからインスパイアされた、空気力学安定化安定板を包合して、車体側面に空気渦を作り出して、車体とハンドリングの安定化と、走りのスムーズさに貢献しています。

カムリ SE クラスでは、専用ステアリング・ナックルと更に軽量・堅固なコントロール・アーム等のサスペンションパーツとチューニングを装備しました。前後部のバネは、このクラス独占であり、内部反発ばね搭載のショックアブソーバーが、よりコーナリングでの踏ん張りを高めます。リアサスペンション第１コントロールアームには ピロボール・ブッシュを使って、ハンドリングの敏捷性を高めました。

新型カムリの全モデルは、ステアリングフィールのよりフレキシブルなチューニングを提供するトヨタ最新の電子パワー・ステアリング（EPS）制御システムを搭載した最初の車種となります。このシステムは、車両の速度と、そして今回初めて、ステアリングー入力比をベースとした、パワー・アシスト反応制御が採用されました。車両速度感知機能が、低速走行時では軽い操作力を、高速走行時には適度な操作力へと変化させます。SE クラスでは、LE や XLE クラスよりも更にスポーティーな感覚を楽しめる、独自のパワーーアシストレシオを採用しました。

また、電力は補助パワーが必要なときにだけ消費されるので、燃費の向上にも役立ちます。しかもエレクトリック・パワー・ステアリングは、油圧油を必要としないので、より環境への負担が小さくなりました。

カムリの全クラスは、燃費、ハンドリング、静けさ、走りの快適さ、ブレーキ性能の最適バランスのために設計された、新開発の全天候型 タイヤを装備しています。LE クラスでは、標準 16 インチのホイール、SE クラスは５スポーク 17 インチのアルミニウム合金ホイール、そしてＶ６エンジン型 SE は、カムリ最初の、18 インチ、アルミニウム合金ホイールを提供。後者は、独自のツイスト・スポークデザインの、225/45R18 全天候型タイヤ装備です。カムリ XLE は、標準 17 インチ、アルミニウム合金の、エレガントな 10 本スポークデザインのホイールが装備されています。

安全性とセキュリティー

2012 年新型 カムリ全モデルで、２ステージアドバンスト SRS 前部座席用エアバッグ、前後部座席搭載のサイドエアバッグ、カーテン・シールド・エアバッグならびに運転席・助手席用膝部エアバッグの、１０のエアバックが標準装備されています。前部座席乗員用の膝部エアバッグは、カムリでは今回が初装備です 。

カムリの車体構造は、衝突時の衝撃力を吸収し、車内の衝撃による変形を最低限に抑えるように設計されました。B-ピラーには高強度スチールを使用、ロッカー・パネルは、特定面への衝突時における車両全体の変形に対処すべく補強されました。座席フレームもまた、側面衝突の負荷を吸収するようにデザイン。歩行者との衝突時に備え、内部ボンネットと先端分の構造は、その歩行者の負傷を和らげる助けとなるよう設計されています。

全てのトヨタ車同様、カムリは車両安定制御（VSC）、トラクション制御（TRAC）、アンチロックブレーキシステム（ABS）、電子制御ブレーキ力配分システム（EBD）とブレーキアシストを含む、トヨタの「スター・セーフティー・システム」が標準装備です。

また、スマート・ストップ技術でブレーキオーバーライドシステムを装備。タイヤ。プレッシャーモニターセンサーも標準装備です。

その他の提供される安全性システムとしては、警察と緊急車両を手配するコールセンターの通信士にアクセスする、セーフティー・コネクトがあります。このシステムは、自動衝突通知と、ＧＰＳを通じて盗難車の位置を警察に知らせ、その回収を助ける盗難車探知機能を組み合わせたシステムです。

新たに装着可能になったブラインド・スポット・モニターは、サブミリ波レーダーを使って、運転者のブラインドスポットを探知します。システムが隣車線のブラインドスポットにいる他の車両を探知したら、サイドミラーのサインで運転者に警告します。運転者がレーン変更しようとしている車線ののブラインドスポットに他の車がいれば、そちら側のサイドミラーのサインが点滅します。運転者は、希望に応じてこのシステムをオフにすることもできます。

ディスプレー・オーディオ・システムとバックアップ・カメラを装備した車は、リバース・ギアに入ったときには、カメラに写った背後の映像と、それに重なって駐車スペースを示すポジション・ラインそして障害物への距離を画面に表示します。

安心の保証システム

トヨタの 36 ヶ月/36,000 マイルのベーシック新車保証は、通常の摩耗と維持管理を除く、全ての要素に適用されます。駆動系を 6 万マイルまでと、マイル制限なしで腐食をカバーする、60 ヶ月保証を追加もできます。ＨＶバッテリー、バッテリー制御モデュール、インバーター付変換器等のハイブリッド関連要素に関しては、8 年間、10 万マイルまで保証されます。

カムリはまた、2 年間または 2 万 5 千マイルまでのトヨタケアが標準で付加され、通常の定期メンテナンスと、24 時間路上・レッカーサービスを提供します。

＃＃＃